

## 気管切開患者用人工鼻 「マルチトラキ（滅菌タイプ）」



製品名	マルチトラキ ベーシック		マルチトラキplus
	B1セット	B2セット	P1セット
製品番号	6410s	6415s	6440s
構成	セット構成 一覧表		
マルチトラキ ベーシック	○(10個)	○(10個)	
マルチトラキ plus			○(10個)
マルチパック ベーシック (詰替え用カセット)	○(40個)	○(20個)	○(20個)
マルチパック O2ポート (詰替え用カセット)		○(20個)	○(20個)
カセット交換用フック(2個)	○	○	○
備考	マルチトラキ ベーシック、マルチトラキ plus、詰替え用カセットのマルチパック（ベーシック、O2ポート）の単品製品もご用意しています。また、セット構成品の組み合わせについてもご相談ください。		

### <製造販売業者>

フレゼニウスカービ ジャパン株式会社  
住 所: 東京都品川区北品川四丁目7番35号  
御殿山トラストタワー9F  
販売名 マルチトラキ  
認証番号 227AFBZX00013000

### <製造元>

Pharma Systems AB (スウェーデン)  
Pharma Systems Eesti OU (エストニア)

## 1. 本品を使用される前に

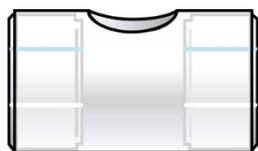
- 必ず、医師の指示の下で使用して下さい。
- 医師または医師の指示を受けた医療従事者から使用方法の説明を受けて下さい。
- 本製品の添付文書および本取扱説明書をよく読んでから、使用を開始して下さい。
- 本製品の利用にあたって不安なことや不明なこと等ありましたら、かかりつけの医療機関にご相談下さい。

## 2. 使用目的

- 自発呼吸のある気管切開患者用の人工鼻です。患者の呼気中の熱と水分を捕捉し、これらを利用して吸気を加湿および加温する医療機器です。

## 3. 製品構成

- 本製品群は以下の構成部品から成ります。



マルチトラキ ベーシック



マルチトラキ plus\*



マルチパック ベーシック  
(詰め替え用 カセット)



マルチパック O<sub>2</sub> ポート  
(詰め替え用 カセット)



カセット交換用 フック

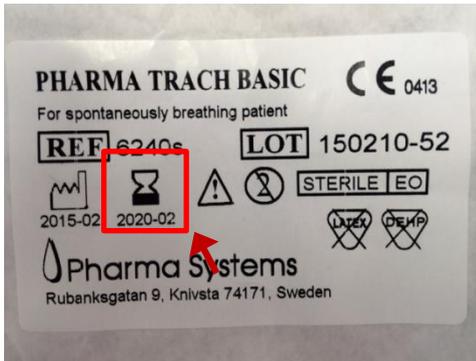
\* マルチトラキplusは、マルチトラキ ベーシックに酸素供給用チューブを接続するための酸素ポートと吸引カテーテルを挿入するための吸引ポートが付いたタイプです。

## 4. 使用上の注意

-  本品および詰め替え用カセットは24時間以内に新品と交換して下さい。本品は洗浄および再利用はできません。
-  患者の痰や分泌物によってカセット部分が目詰まりをおこした場合は、閉塞や感染のおそれがあるため、直ちに本品やカセットを交換して下さい。過剰な分泌または出血が見られる場合は、本品の使用を止め、かかりつけの医療機関にご相談下さい。
-  カセットを交換する際は、必ず本品を気管切開チューブから取り外してから行って下さい。
-  酸素ポート付きのタイプを酸素供給用チューブと接続して使用する場合、接続部に力がかからないように注意して下さい。(本品から酸素チューブやカセットが外れたり、抜管のおそれがあるため)
-  加温加湿器及びネブライザとは併用をしないで下さい。
-  幼児やお子様を使用する場合は、構成品を取り外したり、飲み込んだりしないよう、細心の注意を払って下さい。
-  開封後は速やかに製品を使用して下さい。有効期間のわからなくなった製品は使用せずに廃棄して下さい。有効期間は本品の包装に記載されています。
-  保管方法：水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて常温にて保管して下さい。保管状態によってはカセットのスポンジ状の部分が黄色く変色する場合がありますが、製品の性能や安全性への影響はありません。

## 5. カセットの交換方法

- 使用中、痰や分泌物が本品のカセット部に付着した場合、カセット部を新しいものに交換して下さい。



- ① 包装状態に異常がないこと、有効期間が過ぎていないことを確認し、製品を開封します。



- ② カセットを交換する際は、必ず本品を気管切開チューブから取り外してから行います。

**⚠** 本品を装着した状態で、カセットの交換を行いますと、気管チューブの外れ、気管切開チューブ内への異物落下、気管損傷の可能性などがあり、大変危険です。

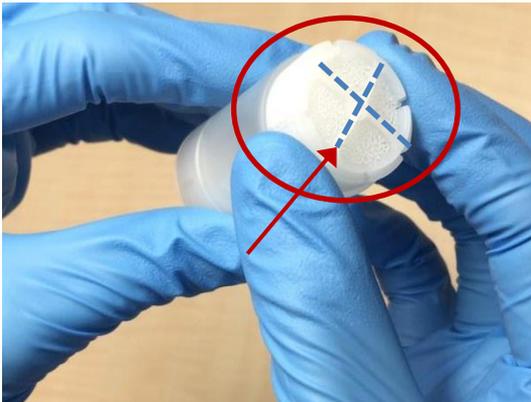


- ③ 構成品のフックを使用して汚れたカセットを取り出します。使用時にフックで手や指を傷つけないようにご注意ください。



- ④ フックを、カセットの十文字部分の中央に引っ掛け、カセットを引っ張りだします。





⑤新しいカセットを取り付けます。

 カセットには裏表があります。交換するカセットの向きは、必ず、十文字面が外側になるようにセットして下さい。

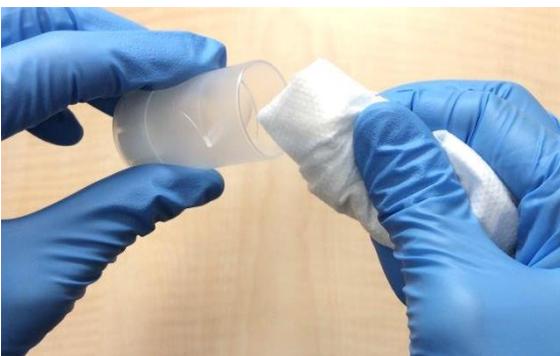


⑥本品に新しいカセットがしっかりセットされていることを確認し、本品を気管切開チューブに接続します。

 酸素ポート付のカセットを使用する場合、誤って両側に酸素ポート付きのカセットを取り付けてしまわないよう、ご注意ください。

 痰や分泌物の付着などの汚れがなくても、詰め替え用のカセットも本品と同じく、24時間毎に交換して下さい。使用中に本品からカセットが外れた場合、外れたカセットを廃棄し、新品のカセットと交換してください。

## 6. 清掃方法



本品が汚れている場合は、まず、本品を取り外し、次にカセットを取り外し、清潔な乾いたガーゼで汚れを拭き取して下さい。

※溶媒などは使用しないで下さい。

※本品の汚れがひどい場合、24時間以内であっても新品と交換してください。

本品の使用にあたってご不明な点やご不安な点がありましたら、  
かかりつけの医療機関にご相談下さい。

## 【警告】

### ＜使用方法＞

- ・ 本品を気管切開チューブと接続する際は、必ず接続に誤りがないこと、呼吸回路が確保されていること、また接続後は常に接続状態を確認すること。[閉塞やリークにより、呼吸に障害が生じる可能性がある。]
- ・ 過剰な分泌または出血がある場合には、本品の使用をひかえてください。
- ・ カセットが目詰まりを起こした場合には、直ちに本品やカセットを交換すること。[流量抵抗の上昇、または閉塞する可能性がある。]
- ・ 使用中の本品からカセットが外れた場合は、カセットを戻すことはせず、新品のカセットに交換すること。[閉塞や感染のおそれがあるため。]
- ・ 本品は、24時間以内に新品と交換すること。[流量抵抗の上昇、または閉塞する可能性がある。]
- ・ 小児患者等に使用する場合は、細心の注意を払うこと。[構成品を取り外したり口に入れてしまうおそれがあるため。]
- ・ カセットの交換、また酸素供給用チューブを接続及び外す場合は、本品を気管切開チューブから外すこと。[気管切開チューブの外れ、または気管を損傷するおそれがあるため。]
- ・ 酸素供給用チューブと接続して使用する際は、接続部に力がかからないように注意し、常に接続状態を確認すること。[本品から酸素チューブやカセットが外れたり、抜管のおそれがあるため。]